

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち No.81



広報 **さいたま**
2011 **12**

まだまだ現役!

ラグビーフエスタ

inさいたま感交流大会



- 2 新発見！さつま町の遺跡
水天向遺跡・虎居町武家屋敷跡
- 6 国民健康保険の医療費
- 8 町の介護保険事業
- 10 行革情報
- 12 まちのニュース
- 19 保健師だより
まちの園芸作物紹介
- 20 町駅伝競走大会結果
- 21 川内川激特
鶴田ダム再開発速報
- 22 暮らしの情報
- 25 がんばれ認定農業者
- 26 がんばれ！スポーツ少年団
- 27 誕生・おくやみ
1歳で～す
- 28 人・夢
休日在宅医・薬局

■表紙の写真説明

かぐや姫グラウンド芝生2面化完成記念「ラグビーフェスタin さつま感交流大会」



11月6日、北薩広域公園グラウンド並びにかぐや姫グラウンドで「第3回ラグビーフェスタin さつま感交流大会」が盛大に開催されました。

今年は、かぐや姫グラウンドの芝生2面化完成記念の大会になり、九州各県から15チーム325名がエントリーし、グラウンド3面で60歳オーバーとアンダーに分かれ、雨の中熱戦がくりひろげられました。

また、今年は、エキシビジョンで鹿児島・宮崎・熊本から女性3チームがエントリーし、技術の向上と交流が図られました。

新発見！

さつま町の遺跡

水天向遺跡・虎居町武家屋敷跡 発掘調査でわかったさつま町の歴史

さつま町教育委員会では、川内川激甚災害対策特別緊急事業に伴い、平成21年度に「水天向遺跡」と「虎居町武家屋敷跡」の発掘調査を行いました。その結果、水天向遺跡では、約3000年前の縄文時代から約800年前の中世にいたるまでの数多くの成果が得られ、虎居町武家屋敷跡では、約200年前の江戸時代の人々の生活の痕跡が見つかりました。

町歴史資料センターでは、速報展も開催し、多くの来館者がありました。今月号では、その概要についてお知らせします。

水天向遺跡

水天向遺跡は、さつま町柏原の小路下手集落に位置しています。平成21年度の5月から10月までの5か月間、本調査を実施しました。

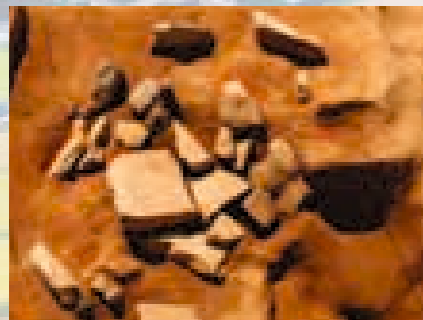
その結果、調査範囲からは、縄文時代後期後半から江戸時代までの長期間にわたる人々の生活の痕跡が発見されました。

縄文時代のものでは、住居跡などの遺構や日常の暮らしに使われた土器や石器などのほかに、狭い範囲に密集して埋められた埋設土器と言われる遺構や勾玉・管玉などのアクセサリーがあり、今から約3000年前の縄文時代後期後半の集落跡が発見されました。

さらに、縄文土器の中に、米の籾跡と思われるくぼみの付いたものが見つかっています。ほかにも、古墳時代の地下式板石積石室墓や、中世の溝状遺構が発見されており、約3000年前～約800年前の柏原地区の様子を解き明かす重要な成果が得られました。



発見された中世の溝状遺構



天井部分が崩落した地下式板石積石室墓

虎居町武家屋敷跡

虎居町武家屋敷は、さつま町虎居の西新町に位置しています。平成21年度の11月から12月までの約2か月間、調査を実施しました。こちらは、江戸時代中頃から近現代にかけての井戸や屋敷の礎石、かまどや囲炉裏ではないかと思われる焼土などの遺構などが発見されています。

遺物は、甕や灯明皿などの日常に使われていた黒薩摩と言われる薩摩焼や、肥前（現在の佐賀県）などで生産された陶器や染付などが出土しています。

江戸時代の宮之城を治めていた宮之城島津家の家臣たちの生活をかきま見ることができるといえる成果が得られました。



発掘作業風景



焼土跡

発掘された遺跡の一部を紹介



さつま町歴史資料センター
学芸員 佐藤 真人さん(32)

水天向遺跡

水天向遺跡では、硬い骨や木材などを加工する時に使用された楔形石器や、主に穴を開けたりするのに使用されたと考えられている石錐なども、数多く出土しています。このような石器が発見されるのは定住した遺跡の特徴の一つとされています。



▶ 楔形石器

木材や骨などを使って作られた道具は、鹿児島県の遺跡では、低湿地を除いて火山灰の影響で、現在まで残ることはほとんどありません。しかし、このような加工するための石器が多く見つかったことから、当時の生活の中でそういった素材がかなり利用されていたことがわかります。



◀ 米粒痕のある石器片

遺跡からは、多くの石器が見つかっています。その中で総計4083点の石器片を対象に、熊本大学の小畑研究室のメンバーにより、これらの石器片の調査が行われました。表面にあるくぼみの中にシリコンを流し込んで、電子顕微鏡で観察するというもので、偶然入り込んだ植物の種子や、虫の痕などを調査するためです。その結果、米の粒と思われる痕が見つかった石器片がありました。石器の特徴がよくわかる部位ではないため、厳密な時期を特定することはできませんが、石器に混じった砂の特徴や表面の加工の様子からみて、縄文時代のものであると考えられます。

鹿児島県内では、これまでも縄文晩期の石器片で数例の穀物の種子が発見されていますが、ここまではっきりと米粒痕であることがわかったものはなく、現段階では、県内で最古級の米粒痕の可能性がります。

水天向遺跡で米が作られていたかはわかりませんが、少なくとも当時の鹿児島県内には、すでに米が存在していたことをうかがわせる貴重な発見例となりました。



土製品



軽石製品



環状土製品

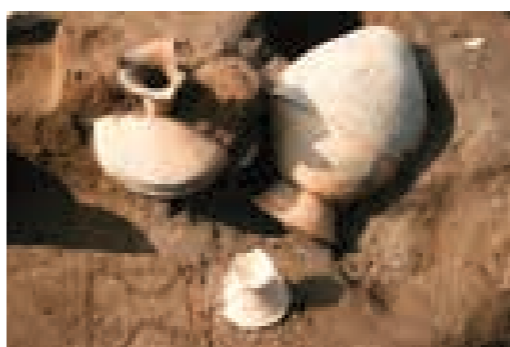
右の三点の遺物は、使い道がはっきりとはわからないものです。土製品と軽石製品は、埋設土器が多く検出された場所の近くで出土したもので、何らかの宗教的な性格をもつものと考えられます。

土製品は、男性器をかたどっているものと考えられます。このような陽根信仰は、古くから世界的にみられるもので、祭の時に大地の豊穡を祈ったものと考えられます。

右下の環状土製品は、住居跡から発見されました。壊れている箇所がないことから、単体で何らかのアクセサリや呪具として使われた可能性が考えられます。

左下の軽石製品は、軽石を削って作られたもので、鹿児島県内の縄文後期の遺跡で、いくつか出土しています。これまでの研究から、災いを移して難を逃れる形代のようなものではないかと言われることもありますが、結論は出ていません。

このように約3000年前の縄文時代後期の人々は、豊かな精神世界を持ち、独自の信仰があったことがわかります。



古墳時代の供献土器

遺跡の中で、夜星川に向かって低くなつていく河岸段丘面では、縄文後期の埋設土器が数多く出土しています。そのほかに、古墳時代の地下式板石積石室墓といわれる墓や、左記の写真のような古墳時代の壺型土器と二基の高塚が発見されています。

これらの土器は、もともとこの状態であったのは不明ですが、保存状態が良く、ほぼ完全な形で見つかりました。

この壺は、中ほどに刻目突帯と言われる文様をつけられ、表面には全体に八ヶによる調整が施されています。これは、鹿児島県内の一般的な特徴を備えた土器だと考えられます。また高塚は、胸部から口縁部にかけてほぼ垂直に立ち上がるという特徴を備えており、熊本県菊池川流域で発見されている高塚の特徴を備えていることが判明しました。

出土した場所は、当時川であったことが考えられ、この2つの土器を使った何らかの祭祀が行われていた可能性が想定されています。

◀ 溝状遺構完掘の様子



古代から中世にかけての遺構は、溝状遺構が発見されました。幅は約1m前後で、深さは遺構検出面から約60cmの溝を4条検出しています。右上

の写真でもわかるように溝の埋土を掘り下げていくと、たくさんの流れ込んだ遺物が出土しました。素焼きの土器である土師器や、大陸で作られた青磁・白磁、長崎の西彼杵半島で採れる滑石というやわらかい石を使用して作られた石鍋などです。多くのものは溝が埋まっていく段階で、流れ込んだものと考えられます。

このような溝は、古代・中世において、当時の支配者である領主の館や、役所のような公的な施設、勢力の強い宗教施設などが存在したと考えられる遺構で、各地の調査でよく発見されています。

また、出土している遺物や、水天向遺跡周辺の地形的な特徴から、川内川を利用した交易が行われていたことが想定されます。

さらに、『宮之城記』など古文書の記載をみると、大前氏や渋谷氏に関わる拠点的なものが存在した可能性が考えられます。

虎居町武家屋敷跡

虎居町武家屋敷跡では、井戸跡や囲炉裏、かまどや厠跡など武家の屋敷地での建物の配置を検出しました。

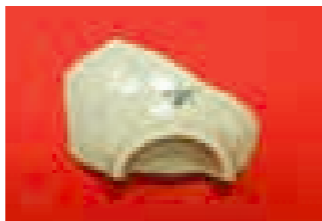
井戸跡は、四角く整形した板石で正方形に組まれており、すきまには漆喰などによる補強の跡が見つかりました。このほかに、屋敷の中には、土の焼けた部分が二か所検出されていますが、埋土の断面を観察してみると、屋敷地中央部にある焼土は、灰だけで遺物はほとんど検出されず、浅い掘り込みがある程度であるのに対して、屋敷地の外側にみつかった焼土は、掘り込みが深く埋め土も灰や炭、茶碗の割れたものが混ざっていることがわかりました。



▶ 焼土跡

このように、この遺跡からは、屋敷地中心部の焼土は、囲炉裏、外側の焼土はカマド跡ではないかと推測されます。

◀ 千鳥印のある白薩摩



◀ 窯道具のチャツ



遺物は、17世紀のものでは、肥前陶器の鉄絵唐津や龍門司系山元窯産の灯明皿があり、18世紀に入ると薩摩国内の苗代川系の陶器や大量生産された肥前磁器などがあります。そのほかに、千鳥印といわれる文様を持つ白薩摩が少量出土しています。当時の白薩摩は、笠野系窯場（薩摩藩御用窯）でしか生産されていませんでした。このようにことから、当時この地には宮之城島津家に仕える上級武士が住んでいた可能性が考えられます。

また、屋敷地内で検出されたカマドではないかと思われる焼土からは、陶芸用の道具で、焼物窯の中で製品を積んだりするのに使われていた「チャツ」という道具が発見されています。周辺の焼物窯として知られているのは、宮之城屋地東谷に文化二年（1805年）の操業とされている宮之城窯があったとされています。現在は陶窯の礎が残るのみですが、何らかの関連があったのかもしれない。

さつま町宮之城歴史資料センター

さつま町虎居5228番地
0996(52)3340

開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日

(月曜日が祝祭日の場合、翌日)
入館料 一般 210円(157円)

小中学生 100円(50円)

未就学児 無料

()内は20名以上の団体料金です

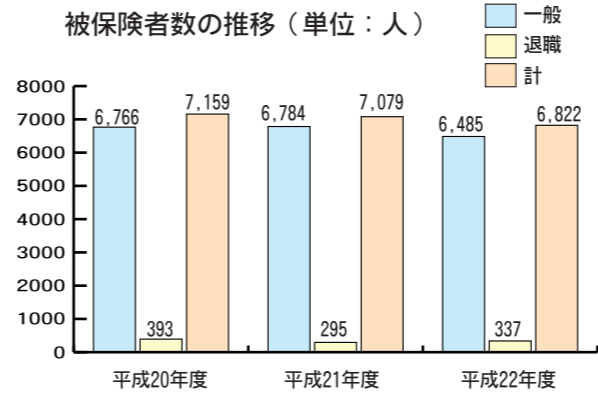


国民健康保険の医療費

本町国民健康保険の医療費についてお知らせします。
国民健康保険制度は、加入者の保険料と公費（国・県・町）負担で賄われています。限りある医療費です。医療費の節約にご協力をお願いします。

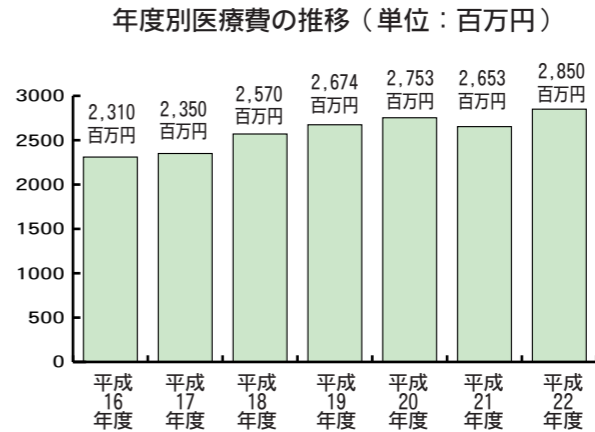
1 被保険者数は減少傾向

国民健康保険の加入者数は、この3年間で少しずつ減ってきており、町の全人口に占める割合は、平成23年3月末現在では28.0%です。
平成22年度では、一般の加入者（74歳以下で退職を除く）6,485人、退職（主に会社などを退職されて国保に加入された方）3,377人の計6,822人となっています。



2 一人当たりの医療費は、41万〜42万

さつま町国民健康保険の総医療費は、平成22年度で28億5,012万円余りとなっており、前年度と比較すると7.4%の伸びとなっています。一人当たり医療費は、一般41万6,077円、退職42万7,380円となっています。
これは、「生活習慣病の増加」、「医療技術の高度化」、「高齢人口の増加」などが考えられます。

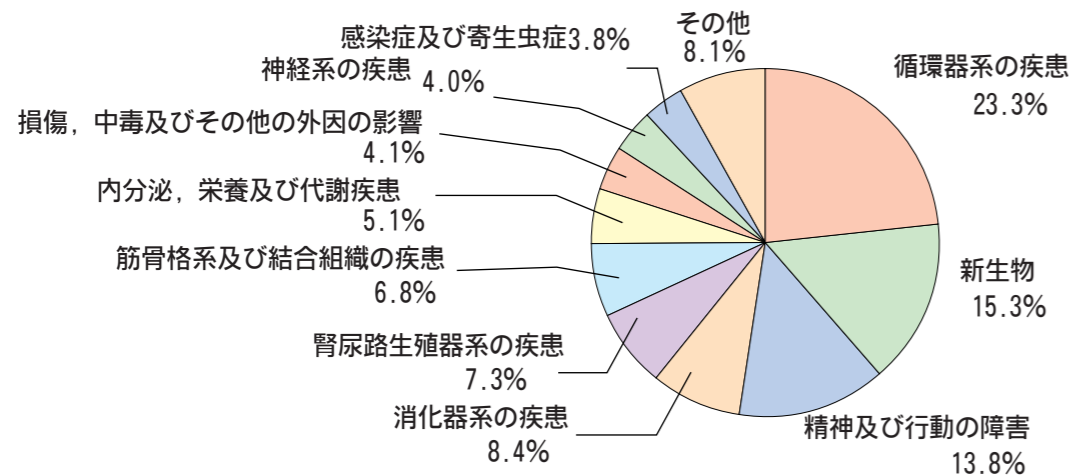


3 疾病分類別医療費

使われた医療費について、大分類疾病ごとに見てみましょう。平成22年10月診療（入院+入院外）分で見ると、2億1,177万3,300円が使われ、第1位が「循環器系の疾患」、第2位「新生物」、第3位「精神及び行動の障害」の順となっています。

- 1位：循環器系の疾患（高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞など）
- 2位：新生物（胃の悪性新生物、大腸の悪性新生物など）
- 3位：精神及び行動の障害（統合失調症、気分（感情）障害 神経症性障害など）
- 4位：消化器系の疾患
- 5位：泌尿生殖器系の疾患

1に運動、2に食事、しっかり禁煙、最後にクスリ！ ～生活習慣を見直し、健康を守ろう！～



4 健康診査の受診率を高めましょう

これまで、疾病の早期発見・早期治療を重点とした健康診査が進められてきました。生活習慣病関連の医療費が増加するなかで、平成20年から生活習慣病に着目した「特定健康診査・特定保健指導」制度がスタートしました。

さつま町国民健康保険では、各地域ごとの集団健診を基本に、指定医療機関（平成22年度は町内の16医療機関）で実施しています。特定健康診査の受診率は、平成21年度が42.5%・平成22年度は46.1%となっています。国の受診率基準値65%を下回ると国の助成金がカットされ、各種健康診査サービスの見直しや保険料の増額が考えられますので、「自分の健康は自分で守る」という意識で、必ず健康診査を受けましょう。

5 このまちは保険料値上げ？

医療費は年々増加傾向にあり、今後も増えていくことが予想されます。医療費が増加すると、国民健康保険の財政を圧迫し、国民健康保険料の改正が必要となってきます。私たちが、医療の受け方を少し見直すだけで医療費を節約することができます。



① かかりつけの医師を持ちましょう。
医師を信頼し、指示を守り、不安や疑問についてもきちんと聞きましよう。

② 急病以外は、夜間・休日の受診は控えましょう。

③ お薬手帳を活用しましょう。
投薬の重複による体への負担や副作用を防ぐことができます。

④ 薬は用量・用法を理解して正しく使いましょう。
薬は適切な用量・用法を守って効果がありません。自分の判断で量を加減したり中止したりすると、薬が効かなくなったり、体に悪影響を及ぼしたりする場合もありますので、指示された用量・用法を守って、正しく使いましょう！

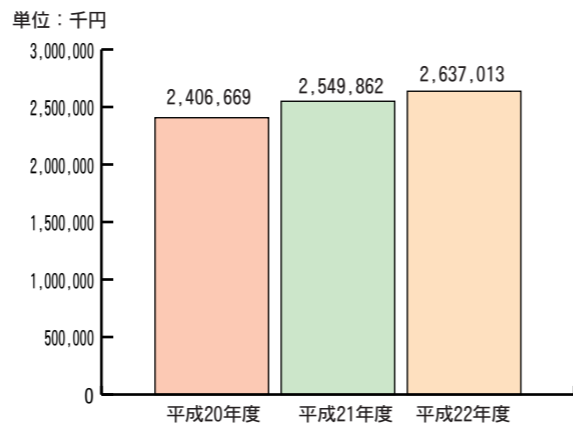
お問い合わせ
本庁 健康増進課 保険係
(内線2141)

介護保険制度は、住み慣れた地域でいつまでも健やかに暮らせるように、また、介護が必要になっても、安心して自立した生活を送れるように、社会全体で支えていこうというしくみです。介護保険制度がスタートして11年が経ち、私たちの老後を支える制度として定着してきました。

③介護給付費（介護保険にかかる費用）は年々増加傾向

平成22年度の介護給付費は、前年比3.4%、87,151千円伸びました。保険給付費の中では、施設サービス費が大きな割合（45.5%）を占めていますが、前年度と比較すると在宅サービス費（109.2%）が大きく伸びました。中でもショートステイにかかる在宅サービス費が大きく伸びています。これについては、町内の入所施設が入所待機の状態にあるということや在宅介護の中でも中・重度者が一定数あることなどが要因となっていると考えられます。

さつま町の場合、40歳以上の被保険者が減少するなか、保険サービスに要する費用が年々増加してきています。



◆保険給付費の支出状況

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	22-21増減	22-21比較
介護サービス費 (要介護者に係る経費)	2,051,392	2,201,588	2,286,176	84,588	103.8%
在宅サービス費	649,494	730,896	798,452	67,556	109.2%
施設サービス費	1,136,654	1,189,334	1,199,834	10,500	100.9%
地域密着サービス費	265,244	281,358	287,890	6,532	102.3%
介護予防サービス費 (要支援者に係る経費)	166,094	158,428	152,127	6,301	96.0%
介護予防サービス費	162,479	154,854	150,672	4,182	97.3%
地域密着サービス費	3,615	3,574	1,455	2,119	40.7%
高額介護サービス費 その他経費	189,183	189,846	198,710	8,864	104.7%
保険給付費合計	2,406,669	2,549,862	2,637,013	87,151	103.4%

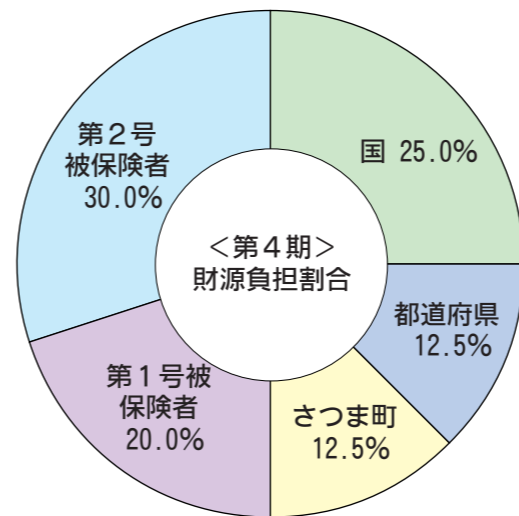
【介護保険の概要】

介護保険にかかる費用は、40歳以上の方に納めていただく介護保険料と公費（税金）を財源に運営しています。

現在、第1号被保険者の保険料基準額は月額4,100円です。（国平均4,160円 県平均4,172円）

財源＝介護保険にかかるサービスの総費用

利用者が支払った原則1割の利用料を除いた9割を保険で負担しています。



【第1号被保険者及び第2号被保険者数】

区分	平成22年度
第1号被保険者	8,449人
第2号被保険者	7,877人
合計	16,326人

【注】
第1号被保険者：65歳以上
第2号被保険者：40歳～64歳
第2号被保険者については、住民基本台帳からの推計値

①決算収支 ～基金（貯金）を取り崩さなければならない状況に～

平成22年度は制度開始（H12）から11年目となり、制度が浸透定着して大きな混乱もなく、3ヶ年ごとに事業計画を定める第4期計画期間（H21～23）の中間年として安定的な運営がなされました。平成22年度の特別会計は実質収支が49,888千円の黒字となりましたが、介護給付費準備基金を47,010万円取り崩しています。

区分	平成21年度	平成22年度	22-21増減
歳入総額	2,695,913	2,797,206	101,293
歳出総額	2,640,704	2,747,318	106,614
実質収支	55,209	49,888	5,321

注) 介護給付費準備基金とは、第1号被保険者の保険料に余剰金があった場合に積み立てられ、財源が不足した場合は取り崩します。

②年々増加する認定者数とサービス利用者数

平成23年3月末の認定者数は1,835人で、第1号被保険者に対する認定率は21.7%です。うち介護サービスの利用者は1,495人（認定者の約81.5%）で、994人（54.2%）が在宅でのサービスを受けています。

認定者の平均年齢は84.7歳で、90.5%は75歳以上の後期高齢者です。男女比では女性が75%を占めています。

区分	合計			要支援者			要介護者		
	H20	H21	H22	H20	H21	H22	H20	H21	H22
認定者数	1,746	1,764	1,835	525	479	540	1,221	1,285	1,295
サービス利用者数	1,417	1,425	1,495	381	335	377	1,036	1,090	1,118
在宅介護(在宅)	932	936	994	374	332	377	558	604	617
地域密着(グループホーム等)	107	111	110	7	3	0	100	108	110
施設(特養・老健等)	378	378	391	0	0	0	378	378	391

注) 認定率 = 認定者 ÷ 第1号被保険者

Q. 介護保険料はどのようにして決まるのですか？

A. 介護保険料は介護保険のサービスにかかる市町村ごとの総費用をもとに決まります。3年を1期として町が事業計画に定めたサービス費用見込額等に基づき、3年ごとに見直され決定します。現在、平成24年度からの第5期介護保険事業計画を策定中ですが、第5期では更に保険料の引き上げはやむを得ない状況となっています。

<介護保険料の流れ>

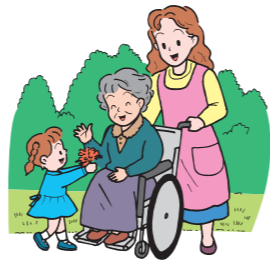
第3期 (H18～H20)	第4期 (H21～H23)	第5期 (H24～H26)
3,800円	4,100円	策定中



安定的な運営をしていくためには…

1. 介護予防と自立支援の取り組み
2. 真にサービスを必要とする人に適切なサービスが提供される

ことが大切です





昨年度策定した第2次行政改革大綱（計画期間＝平成22年度～26年度）に基づき、簡素にして効率的な行政の実現内容を調査審議するために、平成23年度第1回の行政改革審議会を10月18日に開催しました。審議会では、

（1）平成22年度行政改革の取り組み状況について
（2）さつま町定員管理計画について
（3）公の施設の管理のあり方についての検討

について審議がなされ、ご意見をいただきました。

■（2）さつま町定員管理計画について

平成17年度に策定された「町定員適正化計画」に基づき合併時425名の職員は、平成22年4月1日現在で361名となり、ほぼ計画どおりの削減が図られてきました。今後は、将来の行政需要の見通しや地方分権化への対応など、新たな変化に迅速かつ柔軟に対応することも念頭に、平成27年4月1日時点の職員数325人を目標とする「定員管理計画」を策定しました。

《主な計画内容》

計画期間：平成22年度から平成26年度までの5年間。

計画目標：5年間で概ね10%の職員数を削減する。

職員数361人（H22.4.1現在）を325人（H27.4.1時点）とする。

■（3）公の施設の管理のあり方についての検討

本町が所有する公の施設（住民の一般的な共同の利用に供する施設）については、旧町における住民ニーズに基づき設置されたものでありますが、昨今の厳しい行財政状況や高度・多様化する行政需要の中において、施設の設置目的が薄れた施設や機能が重複する施設、時代の経過とともに老朽化、設備機器の機能不全を引き起こす施設が見受けられ、限られた財源の中、廃止や民間譲渡を含め、効率的な施設運営に一層努めていくことは、持続可能な行財政運営のために避けて通れない事項と捉えています。

町では規模や状況に相応しい施設のあり方や効率的管理のあり方を再検討するために庁内に検討委員会を設置しました。

◆◆審議会における主な質疑応答◆◆

Q1) 議員定数削減について、どのような状況にあるのか。

A1) 次期選挙が平成25年4月になるようですが、現在、議会では鋭意審議をされているところです。

Q2) 税金の滞納額使用料、手数料、貸付金等状況はどうなっているか。

A2) 収入未済額として、一般会計・国民健康保険会計・後期高齢者・介護保険・農業集落排水事業等の特別会計を含め、4億3千万円余りになっています。長引く景気低迷等による影響等もありますが、催促や督促を行いながら納税相談に応じたり、場合によっては、財産の差し押さえ売処分、裁判への訴えの提起による強制執行を行うなど、収入未済金対策及び負担の公平性の確保に努めているところです。

Q3) 職員定数を削減する計画について、平成27年度までに定年退職者は何名いるか。

A3) 52名と見込んでいます。計画では、定年退職者等に新規採用者の調整を行うことで、36名の削減を行うとしています。

Q4) 定員管理計画については、今後、5カ年計画に加え、中長期視点から更に5年間の推移も見極める必要があるのではないかと。更に削減する方向性も示す必要があると思うが。

A4) 合併に伴い広域事務（ゴミ・し尿・消防行政）も新町で行うことになりました。特に消防業務は現況でも充足率が約半分の状態で維持しています。その分、職員定数削減は、一般行政職員の削減になります。地方分権の進展に伴い、県事務の移譲により仕事量は増加の一途をたどり一方では職員数の減少の実態があります。

超高齢化社会の中では、人的行政サービスの維持を図る上でも一定の人員の確保は必要と考えています。

Q5) クリーンセンターや給食センターの業務委託の取り組みについてどのように進んでいるのか。

A5) ごみ収集業務については、民間委託を行っています。ゴミの処理業務について、今後、業務委託をしていく方向で、現在、事務作業を進めています。

給食センターについては、現在、3つの給食センター（旧町毎）で学校給食を作っています。学校再編の状況を見極めながら1センター化を目指した検討を進めているところです。

■（1）平成22年度行政改革の取り組み状況について

自治体を取り巻く環境の変化は大きく分けて、地域主権・地方分権化時代の到来、財源緊縮型社会の到来、少子高齢化・人口減少の到来とされています。国と地方の関係が大きく変化し、国や県からの権限が移譲され、その責任も大きくなってきています。

一方で国及び地方の長期債務残高が依然として巨額であることや東日本大震災への復興対策費用、日本経済の再生を図るための費用の捻出などにより、これまで、財源の主を地方交付税や補助金等に依存していた自治体において、これら財源が将来的に安定しているとは考えにくいと推測しています。

また、人口の都市集中化に伴い地方の過疎化が進行し、これに急速な少子高齢化がより現実味を帯び、これまでの行政サービスの再構築などの対応が求められています。

本町においては、このような急激な環境変化に適切に対応していくために、財政基盤の確立とともに本町においても経営感覚に優れた取り組みを更に進めてまいります。

財政改革の取り組み状況では第1次行革から更に改善傾向にあります。

（1）決算規模の推移（各年度とも黒字決算）（単位：百万円）

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
決算 (普通会計)	歳入	16,279	16,839	16,319	14,940	15,905	15,671
	歳出	15,684	16,160	15,453	13,932	15,092	14,729
	(歳入・歳出)	595	679	866	1,008	814	942

（2）経常収支比率の推移（財政の弾力性 75%～80%標準）（単位：%）

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
経常収支比率	100.4	98.1	98.2	98.0	91.4	85.8

（3）実質公債費比率（18%以下）及び地方債（長期借入金）残高の推移（単位：%、百万円）

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
実質公債比率(3ヶ年平均)	20.2	19.9	19.5	18.5	18.0	16.6
地方債(長期借入金)残高	23,625	23,007	21,684	20,313	19,070	17,929

（4）基金（貯金）の推移（単位：百万円）

区 分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
基金総額(貯金)	1,709	1,827	1,981	2,249	2,966	4,117
うち財政調整基金 (災害、経済変動、大規模事業充当)	934	1,114	1,288	1,488	1,819	2,440

子ども図書館（えほんの森）に行ってみよう！

10月27日、薩摩支所庁舎に「子ども図書館（えほんの森）」が開館しました。オープニングセレモニーでは、地元の恵光保育園の園児による太鼓踊りに始まり、式典では、錦光保育園児による喜びのこぼや愛称募集の表彰、テープカットのあと絵本の読み聞かせや人形劇などが行われました。



来館者の皆さんは早速、絵本などを手にとり、親子で見入ったりする光景が見られました。



子ども図書館部分は、カーペット張り、床に直接座っても良いし、高さの低いテーブルや椅子も置いてあり、本棚なども子ども手の届く低い場所を利用してやすくなっています。



また、一般図書部分は、旧薩摩図書室を移設拡充しており、もちろん大人だけでも入れます。

■こんな利用はどうですか？
友だち家族と一緒に、少子化が進む中で、近所に同世代の子どもを持つ家族が少なくなり、子ども図書館で知り合った方々と、毎週定期的に、曜日と時間を合わせて利用し、子育てのことなど色々話をする場にしてはどうでしょうか。



子育てに関する色々な育児書をたくさん揃えていますので、参考にどうぞでしょうか。

■「お話の部屋」など開催
毎月、第1及び第3土曜日の午前10時から、紙芝居や絵本の読み聞かせなど「お話の部屋」を開催しますので、気軽に参加ください。また、随時、親子の読み聞かせ指導も行います。（屋地楽習館図書室では、第2・4土曜日に実施しています。）

■利用者の声は・・・
・いろいろな種類の絵本がいっぱいあって良いですね！
・明るくて広いし、寝っころがったりできるので気分的にゆったりできます。
・子どもと絵本を見ながら2〜3時間ゆっくりできます。

■子ども図書館
電話（57）1202
●休館日 毎週月曜日
（第3日曜日の翌日は除く）及び毎月第3日曜日
●開館時間
午前9時〜午後5時30分



雨にも負けず

紫尾温泉まつり

10月30日、紫尾温泉まつりが紫尾区のふるさと創生館で行なわれました。

当日は、あいにくの雨模様でしたが、舞台発表や郷土芸能の披露などが行なわれ、中でも浅山棒踊りは、紫尾区郷土芸能保存会により18年ぶりに復活しました。

また、会場では本年度法務省から「人権の花運動」の指定を受けている紫尾小学校児童が活動の一環として来場者に「ひまわりの種」を配付しました。



18年ぶりに復活した浅山棒踊り

さつまの日

毎月第3土曜日は「青少年育成の日」
毎月第3日曜日は「家庭の日」



参加者に特産品をPRする日高町長と稲森さん

岡山駅前観光物産PR 南九州たびフェア岡山

九州新幹線鹿児島ルート全線開業を受け、熊本・宮崎・鹿児島県の魅力をPRする「南九州たびフェアin岡山」が10月22日・23日の2日間JR岡山駅前広場で開催されました。

週末ということもあり、通行人や家族連れで賑わう会場では、本町から、フレッシュ宮之城とお茶の山口園とソーイングエンジニアハウスなどの団体が出品し特産品をPRしました。

また、特設ステージでも、二回にわたり日高町長や観光大使かぐや姫の稲森さんが本町のPRを行いました。

九州新幹線の全線開業により、岡山ー鹿児島中央間は2時間59分で結ばれています。

地域防災力向上に期待

中津川分団消防車交付式

10月27日、消防署において中津川分団への消防ポンプ自動車交付式が行われました。

これまでの旧消防車は購入後20年を経過し、ポンプ性能等に劣化がみられたことから、今回最新式に更新したものです。

交付式では、日高町長から江藤繁隆中津川分団長に交付書が交付されました。

江藤分団長は、「これを機にさらに訓練に励むとともに、地域から火災が発生しないよう予防消防に努めます」と謝辞を述べられました。



中津川分団に配備された消防ポンプ自動車



電動カーに乗るときも気をつけて！

交通安全はみんなの願い

実技型二輪車交通安全教室

11月1日、柏原グラウンドで高齢者を対象とした二輪車（原付・自転車・電動カー）交通安全教室が、さつま町・さつま警察署・さつま地区交通安全協会の主催で行われました。

さつま警察署員の指導のもと、グラウンド内のコースで約1時間実技が行われました。

参加者は、「普段意識をしないことなどが確認できてよかった」と満足された様子でした。

町民のみなさん、年末年始にかけ交通安全に十分気を付けて下さい。

消防団協力事業所表示証を交付

11月4日、消防団協力事業所として認定した事業所に対し、消防長と消防団長が事業所を訪問し、表示証の交付を行いました。

この表示証は、事業所として消防団活動を理解し協力していたらいてることを示すものであり、地域全体で社会貢献を認め合おうと、平成21年度から始めています。

今回認定した事業所を含め、現在20の事業所を認定しています。

新規認定事業所は次のとおりです。
・(有)川内緑造園（求名）



左から末吉消防団長、川内緑造園川内さん、高木消防長

九州の仲間が集う！

九州グリーン・ツーリズムシンポジウム 2011 in さつま町

11月4日、薩摩農村環境改善センターで「九州グリーン・ツーリズムシンポジウム」が開催され、九州圏内のグリーン・ツーリズム関係者約500人が参加しました。

このシンポジウムは、グリーン・ツーリズムに取組む個人・団体が一堂に会し、「鹿児島流のグリーン・ツーリズムに学ぶ」をテーマに民泊型教育旅行の受入態勢拡充や農業体験を通じた農業振興のための議論が交わされました。

また、会終了後の交流会では、さつま町など北薩地域のグリーン・ツーリズム団体に



薩摩農村環境改善センターで行なわれたシンポジウム



二渡地区で実施された竹掘り体験

よる地元の食材を使った料理や地元焼酎で交流を深めました。

交流会の参加者のうち、約150人の方が北薩地域の農家民宿を体験され、さつま町には、60人が9軒の農家に宿泊されました。

翌日は、二渡の竹の子村で竹掘り体験が開催され、49人の方が参加し、体験後の昼食会では早掘り箸を使用した郷土料理も堪能されました。

さつまの日
毎月第3土曜日は
「青少年育成の日」
毎月第3日曜日は
「家庭の日」

クライムアップツリー・ドングリクラフト体験

10月23日と11月6日、さつま町グリーン・ツーリズム研究会と北薩広域公園の合同による「クライムアップツリー体験」・「ドングリクラフト体験」が実施され、約90人の子供たちが参加しました。

「クライムアップツリー」とは、ロープを利用して木に登ったり、登った木から滑車によるターザンを行ったりするもの、「ドングリクラフト」はドングリなどの木の実を使ったアート作品を作るもので、いずれも森林とのふれあいを楽しむ体験です。

参加した子供たちは、日頃高い木に登ったことがないためか最初は怖がっていましたが、慣れてくると順番も待ち遠しく貴重な体験に満足した様子でした。



滑車によるターザンを楽しむ参加者

練習の成果を披露 文化協会支部文化祭

町文化協会各支部文化祭が、10月下旬から11月にかけて3支部（薩摩・宮之城・鶴田）それぞれの会場で開催されました。

展示発表では、絵画や手芸、生花などが展示され、見学者は、心のこもった作品に見入っていました。

舞台発表では、力強い太鼓の演奏、優雅なダンス、一糸乱れぬ舞踊、息の合った合唱など、多くの団体が日ごろの練習の成果を披露しました。力のこもった演技に客席から感動の拍手が送られました。



宮之城支部文化祭で披露されたダンス



犬においを確認させる児童

命の大切さを知って

終野小 動物愛護教室

11月9日、終野小学校で動物愛護教室が行なわれました。これは、県北薩地域振興局川薩保健所の主催で行なわれたもので、子どもたちの動物に対する正しい知識と思いやりの気持ちを育み生命尊重の意識を高めることを目的に行なっているものです。

教室に参加した、終野小学校6年生の大野千尋くんは「実際にさわったり、えさをあげたり、6匹の犬とふれ合えることができ、とても楽しかった。聴診器を使って犬の心臓音を聴くことができ、改めて命の大切さが分かった気がした」と感想を話してくれました。



園児が見守る中料理に挑戦

一日保育を体験

町内各小・中学生及び薩摩中央高校生61人が、町内各保育園（所）の協力をいただき、一日保育を体験しました。

この一日保育体験は、将来親となる児童・生徒に、乳幼児とのふれあいを通じて、家庭や子育ての大切さについて理解を深めてもらうものですが、はじめはどのように接してよいか戸惑っていましたが、徐々に打ち解けていきました。参加者は、園児とふれあいの中で、育児の楽しさや喜び、大変さや責任を感じてくれたようです。今後町内で、このような機会が増え、明るくいいきと子育てが行われる町になればと思います。

さつまだけの「初出荷」 JA北さつまで商標マーク取得

全国一早い「さつまだけのこ」の初出荷式が、10月17日にJA北さつま本所で開催されました。この時期の「さつまだけのこ」は、1kgあたり1〜3千円で取引され、主に高級料亭で旬を味わう食材として珍重されています。

この日は、生産者28人から昨年大きく上回る約60kg（前年比6倍）の出荷があり、旬振興会や関係者が集まる中、今年の活気ある生産を期待し東京築地市場に出荷しました。

なお、JA北さつまでは「さつまだけのこ」ブランド確立を目指し、本年8月地域団体商標「さつまだけのこ」を取得され、また現在「さつまだけのこ」の地域団体商標登録に向けた手続きも進められています。



関係者の手によってトラックに積み込まれる「さつまだけのこ」

県代表として羽ばたく 全国中学バレー大会

今年で25回目を迎える全国都道府県対抗中学校バレーボール大会の鹿児島県選抜選手として、宮之城中学校3年生の羽子田将さんが選ばれました。

羽子田さんは、顧問で同中学校教諭の古田康洋監督の下日々の練習に真剣に取り組んでおり、全国大会での鹿児島県代表として活躍が期待されます。

第25回全国都道府県対抗中学校バレーボール大会（通称「JOCジュニアオリンピックカップ」）は、12月25日〜28日の日程で大阪府立体育館を中心に開催されます。



古田教諭と羽子田さん



テープカットを行なう関係者

さつま町乗合タクシー出発式

11月1日、宮之城鉄道記念館前で事前予約型の乗合タクシー出発式が行われました。

出発式には、鹿児島県をはじめ交通事業者、高齢者クラブ、商工会、議会等約40人の関係者が出席しました。

日高町長は式典の中で、「少子高齢化の進展と交通弱者の視点にとどまらず多面的な機能の観点から計画を進めてきた。実証運行で利用者の声を把握し、地域の実情にあった交通体系を構築したい」と述べました。

本年度は、これまでコミュニケーションバスが運行されていなかった交通空白地域や新興住宅地で先行して始まり、週3日、一日6便が事前予約によって運行することになります。



左から野崎さん出水さん東教育長

全国自作視聴覚教材コンクール表彰伝達式

全国自作視聴覚教材コンクール動画部門において、「宮之城人形を作ろう 土人形の歴史と作り方」が入選し、その伝達式が、さつま町教育委員会で行われました。

宮之城人形の歴史は昭和初期に一度は途絶えましたが、平成17年に、素朴で味わい深い土人形を復活させたいと、出水堤治郎氏を代表に、宮之城人形復興会が結成され、復興事業に取り組んできました。より多くの町民に身近に感じてもらうようと、企画・構成を宮之城歴史資料センター、撮影・編集を野崎正寛さん（さつま町文化財保護審議会会長）が行った自作教材が、高く評価されたものです。

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち



上様式での餅投げ



薩摩農村環境改善センターでは宮之城高等技術専門校の家具展も行なわれました



毎回好評のちくりん大鍋には長蛇の列が



要望を行う日高町長

11月2日、鹿児島県市町村自治会館において、各期成会による県への要望活動が、萩亮県土木部次長や関係課長などに対して行われました。地域高規格道路「北薩横断道路」の整備促進については、泊野道路と広瀬道路の早期整備や鹿児島空港から北薩空港道路間及び広瀬道路から泊野道路並びに、紫尾道路から南九州西回り自動車道阿久根北IC間の調査区間への早期格上げを図るよう、強く要望されました。

また、国道328号の整備促進については、本町下船木地区から地域高規格道路（国道504号）間の整備促進など要望されました。



パルーンアートコーナーも長い列が

秋たけなわ 第7回 さつまフェスタ



好評だった青森県鶴田町のりんごコーナー



ねらいを定めて・・・コイン落とし

11月20日、薩摩総合運動公園で、第7回さつまフェスタが開催されました。当日は少し肌寒い気候でしたが、約13,000人の来場者で賑わいました。

会場では、ステージショーや農林産物の展示即売、五ツ太鼓まつり、ちくりん大鍋など盛りだくさんの内容で一日中賑わいました。



息の合った五ツ太鼓の競演



木工教室コーナーも盛況



B & G 体育館では健康チェックコーナーも



将来は消防士に・・・消防放水体験コーナー



要望書を手渡し日高町長

第49回技能五輪 全国大会へ出場 宮之城高等技術専門校

県立宮之城高等技術専門校の生徒4人が、12月16日から19日まで静岡県を中心で開催される「第49回技能五輪全国大会」の県の予選大会を突破し、鹿児島県代表として出場することになりました。

技能五輪全国大会は、国内の青年技能者の技能レベルを争うことにより、努力目標を与えることなどを目的に開催され、40職種について競技が行われます。

今回同校からは、4人が2人ずつ、「建築大工」と「家具」の部門に出場されます。全国大会での4人の活躍が期待されます。



「家具部門」に出場する池田さんと林さん(左から)



「建築大工部門」に出場する上妻さんと瀧川さん(左から)

10月21日、北薩地域振興局において、国道267号の鉄道記念館前から宮都大橋までの約400mの歩道整備と国道328号の屋地本町交差点改良について松永建設部長へ要望を行いました。



指導してもらいながら間伐をしています

森林の恵に感謝！ 佐志緑の少年団

11月5日、柏原の片野山公園造林地で佐志緑の少年団の児童27人が枝打ち・間伐の体験をしました。

子どもたちは、県森林総合研究所や北薩地域振興局の方々の指導のもと、のこぎり等を手に一生懸命に作業をしていました。

混み合っ暗かった森林も、光が差し込み明るく健全な山になりました。

体験に参加した、佐志小学校6年生の脇すみれさんは、「木を倒した瞬間、あたりがぱアッと明るくなりました。雨が降っていないときも蓄えた山水を出し、私たちの生活を支えてくれる大切な森林だから、大切に守っていきたいと思いました」と感想を話してくれました。



鶴田中学校3年生の発表の様子

第7回町小・中学校音楽発表会が11月18日、宮之城文化センターで開催されました。子どもたちは日頃の練習の成果を發揮し、健やかな歌声熱のこもった演奏などを披露してくれました。

講師の町音楽部顧問の加塩和宏先生（鶴田中学校長）から、「小規模校も大規模校も、その学校なりに工夫し、児童生徒が楽しく、生き生きと音楽活動がなされていることをうれしく思います」との感想をいただきました。

子どもたちは互いの発表を聴くことで、そのよさを認め合い、よい刺激を受けることができたようです。

さつまの日

毎月第3土曜日は「青少年育成の日」
毎月第3日曜日は「家庭の日」

敬老商品券

敬老商品券 見本 500円

敬老商品券はさつま町内各商店でご利用いただけます。

有効期限は、平成24年2月29日までです。

まだ使用されていない方は、町内のお店でお早めにご利用ください。

■敬老商品券のご使用はお早めこー！

80歳、90歳になられた方に贈呈しました「敬老商品券」の有効期限は、平成24年2月29日までです。

まだ使用されていない方は、町内のお店でお早めにご利用ください。

平成23年度
人権啓発標語・ポスター
作品審査結果

12月の人権週間にちなんで、町内の児童生徒から人権啓発の標語・ポスターを募集しました。審査の結果、特選に選ばれた児童生徒と標語の紹介をします。（敬称略）

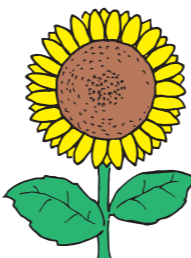
【人権に関する標語】

- 特選**
- ともだちはひとりひとり たからもの
佐志小1年 山元 蓮
 - 一人じゃない みんなのえがお
無げん大
平川小4年 竹井優介



【人権ポスター】

- 特選**
- 中津川小1年 宮脇咲久也
 - 盈進小2年 日当瀬かぐや
 - 柏原小3年 佐藤韻喜
 - 泊野小4年 川平成香
 - 柏原小5年 大迫由貴
 - 柘野小6年 今村政博
 - 鶴田中2年 満園理奈
 - 薩摩中2年 山口紗祐梨



こんにちは保健師です 健康さつま21

早寝・早起き・よく噛んで朝ごはん ～生活を豊かにするために～



基本的な生活習慣は心の安定につながります。毎日の生活のリズムが整っていると先の見通しがたちやすく、心の安定につながります。このことは子ども大人も同じことがいえます。

よい眠りは心身にとって大切なこと。夜9時以降の早い時間帯に眠ることで、分泌されるといわれる成長ホルモンは骨を伸ばし、筋肉を増やし、痛んだ組織を修復します。老化防止や抗がんの作用もあるといわれ、性的な成熟の抑制作用もあるといわれています。

早く眠るためにまずは早く起きることから始めると、眠りにつきやすくなります。

日中は身体を動かすこと・日光を浴びること・感情コントロールに作用するセロトニンの分泌が促されイライラが抑えられます。

よく噛んで朝ごはん
よく噛んで食べることで、消化もよく、脳への刺激も伝わりやすく、脳がしっかり目覚め、気持ちのよい朝をスタートすることができます。

乳幼児期からの子供の生活習慣の積み重ねが小学校、中学校、高校ひいては成人期になっても心身の安定した生活につながります。家族の心身の健康のために家族みんなで、『早寝・早起き・よく噛んで朝ごはん』一緒に考えていただける機会になればと思います。

年末の大そうじはお早めに！
〜クリーンセンター特別開場〜

今年も残りわずかとなり、各家庭では年末の大そうじの時期となりました。例年この時期には、大そうじなどに伴って大量のごみが出されることから、クリーンセンターを特別開場しております。

◎クリーンセンターの特別開場日

期日	搬入できるごみ	搬入時間帯
12月18日(日)	可燃	午前8時30分～午後3時まで
12月25日(日)	不燃資源	
12月29日(木)	可燃	午前8時30分～午後4時30分

※通常日の搬入時間帯 午前8時30分～午後4時30分

◎特別収集日(次の日は可燃ごみの収集を行いません)

期日	収集するごみ	収集地区
12月23日(金)	可燃	火・金収集地区
12月29日(木)		月・木収集地区
12月30日(金)		火・金収集地区
1月9日(月)		月・木収集地区

12月23日(金)、12月30日(金)及び1月9日(月)はクリーンセンターへの直接搬入はできません。

新年のごみ収集は1月5日(木)から行います。クリーンセンターへの直接搬入は1月4日(水)からとなります。

が多く、搬入車の渋滞が予想されますので時間にゆとりをもってお越しになるか、年末を避けなるべく早い時期にお持ち込みください。なお、場内での作業を円滑に行うため、搬入される際は、ごみを分別して持ち込んでください。

さつまのポテンシャルを引き出せ!

まちの園芸作物紹介②

白ねぎ



1. 特徴
ねぎにはビタミンA、C、カルシウム、カロチンなどが含まれています。また、アリシンも含まれていて、ビタミンB1の吸収を助けてくれるので、ビタミンB1を多く含む食品と合わせると効果大です。さらに、アリシンには血行をよくし、疲労物質である乳酸を分解する作用があるので、肩こりや疲労回復にも効きます。

2. 栽培方法等

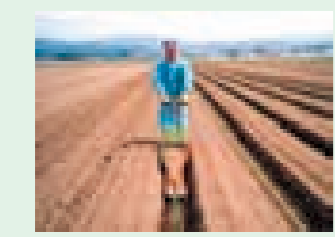
栽培方法は、紙製の「チーンポット」で育苗し、簡易移植機の「ひっぱりくん」で定植しますので、非常に簡単に植えられることができます。植付後は、ねぎの成長に合わせて土寄せし、常にねぎの葉の部分だけが地上に出ている状態にし、根元の部分は、土の中で、太陽にあたらずに育つのが出来るのです。

3. 出荷先等

町内の直売所やスーパー、また、与次郎おいどん市場等県内直売所に出荷します。

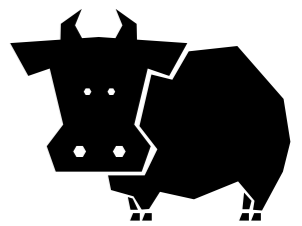
4. 選び方・保存方法

白い部分と緑の部分がはつきりしているものが良いといわれています。また、白い部分が硬くしまっているものを選びましょう。保存方法は、新聞紙などで包み冷蔵庫へ入れ、できれば立てて入れると長持ちします。



お問い合わせ先
農政課 農産園芸係
(内線2424)

5. 効能
白ねぎには、冷えた体を温める効果があるといわれていますので、これから寒くなる季節、鍋料理等で大いに利用しましょう。また、風邪をひいた時は、ねぎと少量の味噌・しょうがに熱湯を注いで飲むと、体が温まり、発汗が促されて熱が下がるといわれています。風邪だけではなく、冷え性の方にも効きそうです。さらに、ねぎ特有のにおいは、肉や魚の臭みをとる薬味として使っても食欲増進に効果があります。鍋に入れたときは、食べる直前に入れ、あまり火を通さずに食べるのが栄養を効果的に摂るポイントです。



11月子牛せり市結果 期日：11月8日(火)～9日(水) (消費税抜き、売却分) (単位：頭・円・kg)

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比(対10月分)
めす	285	122,885,000	986,000	431,175	280	1,924円安値
去勢	333	142,915,000	624,000	429,174	302	567円高値
合計	618	265,800,000	986,000	430,097	292	620円安値

川内川激特・鶴田ダム再開発速報

10月24日、25日、九州治水期成同盟連合会（構成団体：九州7県、110自治体）の国等に対する第3回要望会が東京都で行われ、関係自治体の首長、議長等が出席して九州管内の国会議員、国土交通省、財務省、民主党本部及び自由民主党本部に要望を行いました。九州地方は大雨や台風、梅雨前線の活発化による豪雨災害が毎年のように繰り返される災害常襲地帯である



九州管内国会議員との意見交換会で発表を行なう日高町長

九州治水期成同盟連合会 第3回要望会

第3回要望会

ため、新年度予算編成前に、治水対策にかかる関係予算の確保について関係機関等に要望を行ったものです。

25日に行われた九州管内国会議員との意見交換会において日高町長が、「激特事業の状況と事業の効果について」と題して意見発表を行い、築堤や推込水路等の整備状況、本年度の洪水による水位低下の効果、完成した築堤を活かした地域づくり・地域活性化対策の必要性等について発表しました。

なお、両日にわたる関係機関への要望では、内水被害を解消するための排水施設等の整備、鶴田ダム再開発事業に係る必要予算の確保等について強く要請しました。

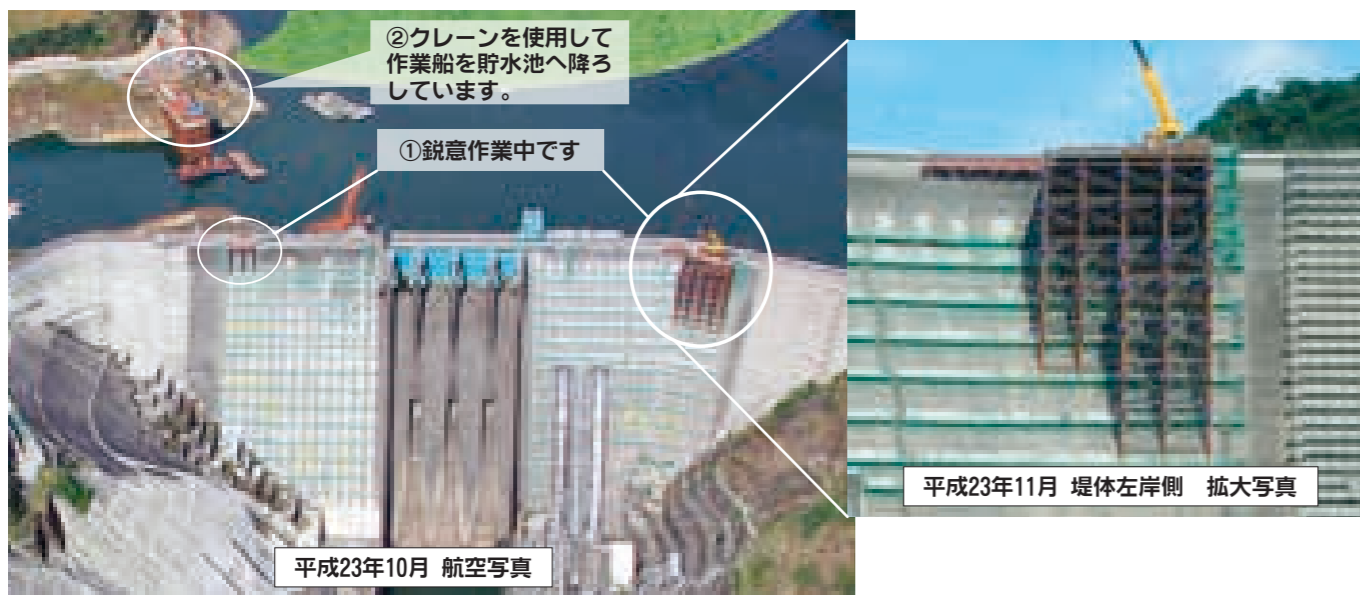
交通規制について（お知らせ）
宮之城橋延伸工事等により、虎居交差点付近は片側交互通行になっておりますので、通行の際はご注意ください。

《今月の現場写真》 場所：鶴田ダム再開発事業

鶴田ダム堤体の両岸側（ ）では、天端構台を設置する作業をしています。この天端構台は、仮締切設置や放流管・ゲート等の据付時にクレーンの足場として使用します。

上流部右岸側の貯水池仮橋（ ）では、クレーンを使用して貯水池に作業船を浮かべる作業等を行っています。

【お知らせ】 鶴田ダム堤頂通行止めを平成23年9月5日から行っておりますので、近くをご利用の際は下記のURL（鶴田ダム管理所HP）にて確認して頂きますようお願い致します。http://www.qsr.mlit.go.jp/turuta/g1_damaccess/index.html



■お問い合わせ先■

国土交通省川内川河川事務所 (0996)22-3271
 激特事業に関すること 工務課
 鶴田ダム再開発事業工事に関すること 工事課
 激特事業の工事に関すること 宮之城出張所 (0996)53-1756

鹿児島県北薩地域振興局 建設部
 土木建築課 道路建設第2係 (0996)23-5151



地元の期待を背負い各チーム一斉にスタート

鶴田Aが4連覇を達成

第7回さつま町駅伝競走大会

11月13日、第7回町駅伝競走大会が町内17区間28.4kmで行われ、町内8チームの選手たちが地域を代表し、健脚を競いました。

レースは序盤 宮之城北部Aチームがリードし、中盤には3連覇中の鶴田Aチームが巻き返す、激しい首位争いが演じられました。終盤もこの攻防は続き首位争い

は最終区間でもつれ込みましたが、鶴田Aチームが4連覇を達成しました。

沿道では、多くの方が力走する選手へ声援や拍手を送り、大会を盛り上げました。

今回の大会では、3つの区間新記録と2つの区間タイ記録が誕生しました。

総合順位

順位	チーム名	記録(時間分秒)	チーム構成
優勝	鶴田A	1時間38分29秒	鶴田・神子・紫尾 柏原
準優勝	宮之城北部A	1時間39分03秒	虎居・平川・泊野 白男川・終野
3位	宮之城ほたる	1時間43分17秒	時吉・佐志・湯田
4位	宮之城屋地船木	1時間44分34秒	宮之城屋地・船木
5位	薩摩	1時間45分16秒	求名・中津川・永野
6位	宮之城山崎	1時間46分38秒	山崎・久富木・二波
7位	宮之城北部B	1時間50分59秒	虎居・平川・泊野 白男川・終野
オープン	鶴田B	1時間48分29秒	鶴田・神子・紫尾 柏原



▲優勝した鶴田Aチーム

表彰(5回出場選手 敬称略)

氏名	チーム
1 崎本政豪	宮之城屋地船木
2 柳田新作	宮之城屋地船木
3 横山香奈	宮之城屋地船木
4 楠八重公一	宮之城北部B
5 豊増英樹	宮之城ほたる
6 米盛友哉	宮之城山崎
7 上大迫みなみ	鶴田A
8 大園裕太	鶴田A
9 栗野和昭	鶴田B
10 酒匂洋一	宮之城北部A



第15中継所では、宮之城山崎チーム西親子のタスキリレーが行なわれました

区間賞(敬称略)

走区	距離km	走者	氏名	チーム名	記録(分秒)	備考
1	2.10	29歳以下	東棟和廣	宮之城北部A	6分06秒	
2	1.35	中高生女子	上大迫みなみ	鶴田A	4分49秒	
			村岡美穂	薩摩	4分49秒	
3	2.05	中高生男子	三重悠晟	宮之城北部A	6分30秒	
4	2.55	フリー	井上智博	薩摩	7分48秒	区間タイ
5	1.25	一般女子	中須めぐみ	宮之城屋地船木	4分47秒	
6	1.35	40歳代	井上悟	鶴田A	4分42秒	
7	2.05	29歳以下	甫立幸次朗	宮之城北部A	6分40秒	
8	2.25	中高生男子	下大迫佑樹	鶴田A	6分56秒	
9	0.95	50歳代	高岩宗浩	宮之城屋地船木	3分05秒	
10	1.20	小学生女子	下大迫ゆき乃	鶴田A	4分52秒	
11	1.40	30歳代	萩木場啓三	鶴田A	4分43秒	
12	1.65	中高生女子	飛松春香	薩摩	5分07秒	区間タイ
13	1.65	小学生男子	假屋原立	宮之城ほたる	5分41秒	
14	1.35	小学生女子	山口若葉	宮之城山崎	5分08秒	区間新
15	1.80	30歳代	木原圭介	宮之城北部A	5分20秒	区間新
16	1.35	小学生男子	今村雄飛	宮之城ほたる	4分58秒	
17	2.10	中高生男子	玉利健志	鶴田A	6分42秒	区間新



親子3人で出場した横山さん親子(宮之城北部Aチーム)



親子3人で出場した村岡さん親子(薩摩チーム)

■くらしの情報

町民課 町民係
内線2125

●年金相談 (事前に予約が必要です)
年金加入記録や受給手続きなどについての「移動年金相談所」を開設します。年金相談は、予約制です。年金の請求手続き及び質問や相談などがありましたら、12月14日(水)までに相談者氏名・基礎年金番号・相談内容等を役場本庁町民課町民係まで申し込みください。
必ず相談時間をご確認(ご予約)ください。予約した10分前にはご来場ください。
相談をされる方は、関係書類(年金手帳・年金証書・印鑑等)をお持ちください。
年金請求の方は、必要書類を事前に川内年金事務所にご確認ください。
本人確認書類(免許証等)をお持ちください。なお、代理の場合は委任状が必要です。
相談日時
平成23年12月22日(木)
午前9時40分から
午後3時まで
相談会場
宮之城ひまわり館
いきいき学習室

町民課 町民係
内線2123

●みんなが愛する人権の世紀
「考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心」
12月4日から10日までは「人権週間」です。
人権週間は、昭和23年12月10日の国連総会において「世界人権宣言」が採択されたことを記念して定められたもので、本年で63年目を迎え、全国各地で人権に関する各種の啓発活動が実施されます。
人権週間の主な強調事項は、次のようになっています。

町民課 町民係
内線2125

●年金を受けている方が亡くなったとき
年金を受けている方が死亡すると年金を受ける権利がなくなり、年金は死亡した月の分まで請求できません。
請求できる方は、死亡当時、年金を受けていた方と生計を同じくしていた配偶者、子、父母、孫、祖父母または兄弟姉妹です。
請求される方がいない場合、住民票コードの登録をされている方につきましては、原則死亡届の提出は不要となりました。
これらの届が遅れると、年金を多く受け取り過ぎて後で返さなければならなくなることもあり、ご注意ください。
年金を受給されていない方が亡くなった場合でも、遺族年金・寡婦年金・死亡一時金が支給される場合があります。
お問い合わせ先
川内年金事務所
(23) 2013

●国民年金保険料の追納のご案内
保険料の全額免除や一部免除等の承認を受けた期間は、保険料を全額納付したときに比べ、将来受け取る年金額が少なくなります。そこで、これらの期間は、10年以内であれば、あとから保険料を納めること(追納)ができるようになっていきます。
追納する場合は、保険料免除等の承認を受けた期間の翌年度から起算して、3年度目以降(平成21・22年度はまた加算がつかいません)に保険料を追納すると、当時の保険料額に経過期間に応じた加算額が上乗せされます。

12月10日から16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」としています。
拉致問題の解決には、「町民一人ひとりの声」が何よりも強い力となるとともに、被害者ご本人とご家族の大きな心の支えになります。
人権週間にあたり、憲法の定める基本的人権尊重の精神を改めて見つめ直し、解決に努めたいものです。
お問い合わせ先
県庁人権同和対策課
電話099(286)2574
県庁社会福祉課
電話099(286)2828

町では次の方々が人権擁護委員として活動しています。(敬称略)

小松園 静子	さつま町 広瀬 1627
松尾 君子	(52) 2598
宮田 和子	求名 51422
佐藤 恵子	(57) 1425
神馬場 寛章	宮之城 屋地 2573
"	柏原 47002
"	(59) 8178
"	中津川 2922
"	(57) 1128

【平成23年度に追納する場合の額】

	全額免除	4分の3免除	半額免除	4分の1免除
平成13年度の月分	15,350円	-	-	-
平成14年度の月分	14,760円	-	7,380円	-
平成15年度の月分	14,540円	-	7,270円	-
平成16年度の月分	14,340円	-	7,170円	-
平成17年度の月分	14,380円	-	7,190円	-
平成18年度の月分	14,440円	10,830円	7,220円	3,610円
平成19年度の月分	14,470円	10,840円	7,230円	3,610円
平成20年度の月分	14,580円	10,940円	7,290円	3,640円
平成21年度の月分	14,660円	10,990円	7,330円	3,660円
平成22年度の月分	15,100円	11,320円	7,550円	3,770円

詳しくは、川内年金事務所 電話(22)5279にご相談ください。

●セルフスタントでの安全な給油について
消防本部
☎(52)0119

ドライバーク自身が給油を行うセルフスタントは全国的に増加傾向にあります。昨年は数こそ少ないものの、全国で3件のセルフスタントにおける火災が発生しており、引火性の高いガソリン等を扱うことから、事故につながりかねません。

そこで、セルフスタントで給油を行う際には、次の点に注意しましょう。
静電気を十分除去する。静電気を十分除去する。自分の車の油種を十分確認し、ノズルは確実に差し込む。
自動的に給油がとまった後の、継ぎ足し給油はしない。
付近でタバコ等の火気を使用しない。
ガソリン容器への小分けはしない。(従業員しかできません。)

学校クリスマス & 学校説明会
12月10日(土) 9:00~12:30
会場: 伊佐市文化会館

◆学校クリスマス... 9:00~11:20
(聖劇・吹奏楽演奏・キャンドルサービス など)
◆学校説明会... 11:30~12:30
(学園生活の紹介、入試相談 など)

※スクールバスさつま線運行中
※特別教室棟および寮(マダレナ棟)、平成24年新築落成
※昨年度鹿児島大(医学科)、北海道大、広島大、早稲田大など難関大に多数進学

カトリック女子校
大口明光学園 中学校 高等学校
携帯版HP用 QRコード

お問い合わせ 895-2511 鹿児島県伊佐市大口里 1830
お申し込み TEL:0995-22-0609 FAX:0995-22-0642
Eメール e_mail@okuchimeiko.ac.jp
ホームページ http://www.okuchimeiko.ac.jp

ちくりんスタンプ会イベント情報

スタンプを貼り終えた台紙に、貼ってご利用ください。このシールを貼ってある台紙はスタンプシールをプラス10枚差し上げます。

クリスマスケーキ 台紙4冊と交換	ローストチキン 台紙1冊と交換	ゴミ袋(2袋) 台紙1冊と交換
タクシーチケット (1,500円)台紙2冊と交換	新幹線 出水⇄博多 台紙18冊と交換	新幹線 川内⇄鹿児島 台紙5冊と交換

有効期限 平成23年12月31日
詳細は、ちくりんスタンプ会まで ☎53-1141(町商工会内)


薩摩郡医師会病院診療案内 (H23.7.1~)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	神野	神野		神野	神野	
神経内科		花田	花田		花田	交代制
救急科	益崎	益崎	益崎	益崎		
循環器内科			福岡			
消化器内科				倉元 (堀之内第2・第4)	倉元	倉元
外科	緒方	緒方	緒方		緒方	大学
整形外科	福嶋	福嶋	福嶋	福嶋		
放射線科	林田	林田		林田	平木	

*50歳以上の方は、低線量CT肺がん検診が、3,150円で受診できます!
担当: 外川内 (TEL0996-53-0326)

10月の火災・救急情報

○火災 発生件数	0件
○救急 出動件数	92件
運んだ人	90人
内訳	
急病	49件46人
交通事故	6件7人
その他	37件37人



がんばれ 認定農業者!! シリーズ⑥7

さつま町求名

はるゆき
わらびの
蕨野春行さん 59歳



蕨野春行さんは、平成7年10月に認定農業者として認定されました。
現在、梅130a、水稲80aを経営されながら、地元工務店にも勤務されています。
地元、薩摩中学校の農作業体験の受け入れをされて、10数年になります。
蕨野さんは「この仕事が生き甲斐と感じています。担い手農家が農地を守り、次世代につないでいくのが努めだと思っています」と話されます。
今後は「現在、グリーン・ツーリズムの農家民泊の許可を申請しています。また、自宅で梅の製品加工をやりたい」と抱負を話されました。

町長交際費執行状況 (10月分)

- 10月4日 11,640円
地元産品PR用
- 10月14日 7,623円
国土交通省川内川河川事務所要望時
- 10月17日 23,097円
九州治水期成同盟連合会要望時
- 10月20日 10,000円
香典(元宮之城町議会議長 東 清邦氏)
- 10月26日 13,959円
国道504号さつま町出水市間整備促進議員期成会総会時
- 10月30日 28,780円
関東求名会総会時地元産品
- 10月30日 5,000円
関東求名会会費
- 10月31日 40,915円
立地企業役員等との懇談会
- 10月31日 27,755円
まちづくり懇談会時地元産品

町長の動静 (平成23年10月)

※主な会議及び行事を抜粋 (各課・局との内部会議は省略)

日	月	内容
10月2日	(日)	運動会(盈進小・鶴田小・永野小)
3日	(月)	辞令交付(朝会 九州森林管理局長との面談)
4日	(火)	いきいきシルバースポーツ大会 認定農業者認定証交付式
5日	(水)	県北薩地域振興局との行政懇話会・EPZ30kmに要望
6日	(木)	南日本新聞社常務取締役との面談 子牛せり市 県市町村職員共済組合
7日	(金)	農産物産出促進委員会 農業後継者祝い金交付式 鹿児島財務事務所長との面談
8日	(土)	町政座談会(求名区公民館) 県畜産共進会(霧島市) お月見コンサート
9日	(日)	町民体育祭
11日	(火)	木の日の要望(木材活用PR活動)対応
12日	(水)	決算特別委員会町長総括質疑
13日	(木)	県危機管理防災室原子力安全対策室長との面談
14日	(金)	川内川河川激特事業関係要望(川内川河川事務所) 鶴田ダム再開発事業説明会
17日	(月)	さつまだけのこ出荷式
18日	(火)	町行革審議会 薩摩郡医師会との意見交換会
19日	(水)	鹿児島県市町村職員共済組合(鹿児島市) 県土地改良連合会との協議 山口県町村会町長行政視察研修会
20日	(木)	薩摩中央高校農家実習生受入式 職員団体との交渉
21日	(金)	水源林造林協議会との協議
22日	(土)	社会基盤整備に係る研修会(薩摩川内市) 議会全員協議会
23日	(日)	南九州3県観光PR(岡山市)
24日	(月)	九州治水期成会連盟意見発表、要望会(東京都)
25日	(火)	川内川河川改修関係要望(国、地元選出国会議員等) 東京都
26日	(水)	入札 福祉介護計画策定委員会 薩摩中央同窓会役員との面談
27日	(木)	国道504号さつま町出水市間整備促進議員期成会 こともの図書館(えほんの森) 開所式 中津川分団消防ポンプ車交付式
28日	(金)	川内川改修促進期成会理事会(薩摩川内市) 県戦没者追悼式 市町村職員共済組合(鹿児島市) 町政座談会(平川区公民館)
29日	(土)	防犯パレード大会
30日	(日)	秋季火防運動訓練式 紫尾温泉まつり
31日	(月)	まちづくり懇談会 立地企業役員との懇談会

町長コラム

日高政勝

新幹線効果

今年の3月、九州新幹線が全線開業し、九州最南端の鹿児島と本州最北端の青森がレールで結ばれることになりました。
直接的に駅のない本町にとっても、その効果が発揮されるように、これまで鹿児島中央駅、川内駅、出水駅で物産展示のイベントを実施し、「さつま町」の観光物産PRに努めてきています。遠くは大阪、岡山、福岡でも行ない、来年2月には東京でも行なう計画です。
定住促進と共に交流人口200万人を目指したまちづくりを進め、スポーツ、文化活動、グリーン・ツーリズムなど九州各県から多くの人達が訪れています。かぐや姫グラウンドなどの芝生3面化によって、全国レベル、国際レベルの大会誘致も可能となっています。行政面においても、広島、山口、佐賀の各県の町村会首長の皆さんが、行政視察に来町されており、これも新幹線効果の一面であると思います。対外的に広く「さつま町」をPRし、多くの方に訪れていただき、地域経済活性化等に結び付けていきたいと考えています。

■ 暮らしの情報

●お問い合わせ: さつま町役場 TEL (53) 1111 FAX (52) 3514

健康増進課 健康増進係
内線2144

●健康診査日程

【12・1月分】

- 乳幼児健診・健康相談
- 1歳7〜8か月児 (H22) 4生
- 12月14日(水) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
- 3歳児 (H20) 10生 健診 12月21日(水) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
- 2歳児健やか健康相談 (H21) 12生
- 1月5日(木) 午前9時〜午前9時30分 受付(宮之城保健センター)
- 2歳6か月児健診 (H21) 6生
- 1月5日(木) 午後0時30分〜午後1時 受付(宮之城保健センター)
- すくすく育児相談 1月6日(金) 午前9時〜午前10時 受付(宮之城保健センター)
- 7〜8か月児 (H23) 5生 育児相談 1月6日(金) 午後1時〜午後1時30分 受付(宮之城保健センター)
- 4か月児 (H23) 8生 健診 1月11日(水) 午後0時30分〜午後1時

受付(宮之城保健センター)
母子健康手帳交付
12月26日(月) 1月16日(月) 午前9時30分〜午前11時 (宮之城保健センター)

●心配ごと相談所

毎週木曜日 午前10時〜正午

宮之城ひまわり館
お問い合わせ先
町社会福祉協議会
☎(52) 1123



●楽々健康ウォーク

水の音風の音コース

12月11日(日) 午前8時
さつま町役場鶴田支所出発
師走の街並みコース
12月24日(土) 午前8時
虎居地区公民館出発

福祉課 福祉障害係
内線2135

税務課 収納第1係
内線2113

●今月の納税など

固定資産税第4期
国民健康保険税第6期
後期高齢者医療保険料第6期
介護保険料第6期
【納期限】 12月26日

税務課 資産税係
内線2115

●償却資産の申告について

固定資産税は、土地・家屋のほか町内に所有している償却資産(事業用資産)についても課税の対象になります。

償却資産の所有者は、毎年1月1日現在の状況を1月31日までに申告してください。

税務課 町民税係
内線2111

●年金所得者の申告手続の簡素化

その年中の公的年金等の収入金額が400万円以下であり、かつ、その年分の公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下の場合には、その年分の所得税について確定申告書を提出しなくてもよいことになりました。

ただし、還付申告など確定申告書を提出した方がよい

い場合もありますので、詳しくは、最寄りの税務署にお気軽にお尋ねください。
お問い合わせ先
川内税務署
電話 0996 (22) 2830
自動音声案内

●町有財産(建物付)の売却のお知らせ

町では、次の財産(旧鶴田中央浄水場管理人住宅)を有効活用していただくために一般競争入札により売却します。

入札参加申込み期間
平成23年12月2日(金) から平成24年1月17日(火)まで(閉庁日は除く)
入札日時・場所等
平成24年1月20日(金) 午後2時30分から
役場南別館3階会議室
売却物件 所在地
さつま町鶴田字上ノ原 2569番5
(土地) 地目 宅地
面積 208.33㎡
(住宅) 木造2階建
床面積 85.7㎡
(平成15年12月建築)
お問い合わせ先
水道課 管理係
(内線2261)

水道課 管理係
内線2261

契約種別	現行料金	12月1日以降	
	20Wまでの1灯につき	10Wまでの1灯につき	10Wを超え20Wまでの1灯につき
定額電灯	118円65銭	80円85銭	118円65銭
公衆街路灯A	108円15銭	74円55銭	108円15銭

金額はいずれも1か月分の料金です。料金には、別途「燃料費調整額」及び「太陽光発電促進付加金」が加算されます。

安全安心対策課 安全安心対策係
内線2215

●九州電力からのお知らせ

最近LED照明の普及が進んでいますが、平成23年12月1日から定額電灯や公衆街路灯A(防犯灯など)の契約について、新たに10Wまでの料金区分ができました。新料金の適用対象となる公民会には、通知書を発送してありますが、変更手続きが必要となります。詳しくは、九州電力川内営業所 営業グループ 0120(986)802(平日9時から17時まで)にお問い合わせください。

がんばれ！スポーツ少年団 ⑤

創立5年、勝敗よりも…

山崎少林寺拳法スポーツ少年団は創立5年目を迎えています。団員は全て山崎小学校の児童で構成され、6年生5人、2年生1人、計6人で活動されています。少林寺拳法は他のスポーツや武道と違い、勝敗を争うことを目的とせず、単独や組み手での演舞で技の習熟度を競い合います。

無理すること無く、協力して技を楽しんで

創立以来指導をされている下野幸夫さん(48)は、「少林寺拳法は突き、蹴りなどの『剛法』と、抜き、投げ、固めなどの『柔法』があります。『柔法』は痛い技が多いのですが、子どもたちは身体的にもまだ長期なので無理をすることなく雰囲気と技術にふれ、協力して技を楽しんでもらいたいです」と指導方針を話されます。また、「一対一で対面した時の集中した眼差しは頼もしい、指導をしていて成長を感じられることにやりがいを感じます」と少年団指導の魅力を話さ



山崎少林寺拳法スポーツ少年団

さらに、「少林寺拳法自体が、一武道団体であることをあまり知られていないのが残念です。子どもたちには修練を通じて、強くたくましく身体と他人への思いやりの心を育みながら成長してもらいたい」と抱負を話されました。

早く昇級して 次のステップへ！

山崎小学校6年生で団員の今増葉月さんは、「私は入団して4年になりました。練習は痛いときもあるけど、技を早く覚えて昇級試験に合格して次に進めるようがんばりたいです」と抱負を話してくれました。



誕生おめでとう

10月16日(11月15日届出分)(14人) 敬称略
あかちゃん 萌 保護者 公民会

船渡 仁	男	東湯田原
轟原 美莉愛	女	船木東
溝下 雄仁	男	東町
松下 瀧音	男	東町
本田 彌斗	男	愛宕
今西 瑛翔	男	湯田中
山迫 大毅	男	鶴田南
寶満 龍信	男	北原
上井 希美	女	堀
後谷 咲良	女	船木下
西之原 千寿	女	時吉新町
吉留 快兔	男	諏訪下
米盛 想葉	女	尾原
田島 誌菜	女	尾原

おくやみ申し上げます

10月16日(11月15日届出分)(33人) 敬称略
なくなった人 年齢 公民会

毛利八ツエ	77	時吉中城
東 清邦	87	湯之元
徳丸 トシ	89	町頭
小丸 善二	88	東
上野ヒロ子	79	中央
宇治野美和	80	上仲町
古園 愛子	79	船木下
鍛冶屋安雄	88	湯田下
四本 岩美	89	新町
財部 元治	56	五日町
吉留 豊	86	大願寺
内村千代子	46	鶴田南
南原マス子	95	京塚原
宮之脇文雄	82	ほたる
春田 禮子	84	市場
橋 富夫	75	船木下
今東 満男	73	東湯田原
生駒マス子	94	湯田下
川口タツエ	96	高嶺
東 光行	66	広瀬
新川 明	84	中央
橋口千鶴子	77	熊田

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

弥栄 フミ	95	二渡町
笹田 忠夫	81	下別府
宮田 伴造	96	きさら
福園 學	77	柁野中間下
野村 フニ	81	紫尾上
鬼塚 民子	86	城之口
梅川 正人	76	町頭
宮里 正義	79	仮屋原
前畑 良子	82	大願寺
富園 充枝	96	白男川中
中間 好子	88	城之口

バスポートの申請は 役場町民課へ

バスポートの申請・受領の窓口は役場町民課(本庁)になります。町内の方は、県のバスポート窓口を原則利用できませんので、ご注意ください。

お問い合わせ先 町民課 町民係

1歳で～す
毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん
谷山莉愛ちゃん
平成22年12月1日生



父 祐成さん
母 祐美さん
諏訪下 公民会
両親から一言
明るく元気に
育ててね!

さつま町よかところファイル No.2



『西郷菊次郎頌徳碑』

文武両道の遺志を受け継ぎたい

永野区交流館の一角にひっそりとたたずむ石碑があります。

永野金山が栄えた時代、永野山ヶ野金山鉱業館長としてこの地に赴任した西郷菊次郎氏の功績をたたえ、大正9年に建立された石碑です。菊次郎は金山の発展に努めるかわら、青少年のために夜学校を開き、また、武道館を作り青少年の教育に力を注ぎました。

そんな菊次郎の功績をたたえて開催されている「西郷菊次郎顕彰剣道大会」も今年で34回目を迎えました。県内外から多くの参加者を迎え、小学生、中学生の剣士達による熱い戦いが展開されました。

菊次郎の文武両道の遺志を受け継ぎ、心と体を鍛え、元気でたくましい子ども達が育って欲しいと思います。



財政課 財政係
久保田 春彦
町の予算や決算に関する
担当をしています。

えいふく ももこ
永福桃子さん

山崎中学校3年



夢への挑戦が始まる！

私は、小さい頃から子どもが大好きで、小学生のときの夢は保育士でした。ところが、あるニュース番組で小児科の病院の特集を見て、気持ちが変わりました。小児科の病院では人手が足りず、医師・看護師の負担が大きくなっていました。それでも子どものために働く姿を見て、私も小児科の看護師になりたいと思ったのです。来年はいよいよ高校受験。夢の実現のための挑戦が、いよいよ始まりました。今はとにかく、勉強をがんばりたいと思います。

休日在宅医

12 月		
4日	林田内科	☎53-1177
11日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
18日	さつまクリニック	☎57-0020
23日	稲津病院	☎52-3355
25日	益奇医院	☎57-0010
30日	海江田医院	☎53-0006
31日	さくらクリニック	☎53-1451
1 月		
1日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
2日	宮之城病院	☎53-0180
3日	てらだ内科クリニック	☎21-3232
8日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326
9日	小緑内科	☎52-1676

休日薬局

12 月		
4日	ウチ薬局	☎53-0063
11日	青空薬局	☎52-0101
18日	さし薬局	☎21-3610
23日	やまだ薬局	☎52-4585
25日	ぎんざ薬局求名店	☎31-6500
30日	タバタ薬局	☎21-3344
31日	きりん薬局	☎52-2033
1 月		
1日	青空薬局	☎52-0101
2日	きりん薬局	☎52-2033
3日	さし薬局	☎21-3610
8日	青空薬局	☎52-0101
9日	とどろ薬局	☎52-2525

わたしたちの町

推計人口による
 人口 23,785人 (- 20人)
 男 10,965人 (- 5人)
 女 12,820人 (- 15人)
 世帯数 9,942世帯
 転入 55人 転出 52人
 出生 10人 死亡 33人
 (平成23年11月1日現在)
 ()は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。